

報道関係者各位

2026年2月24日
特定医療法人南山会

特定医療法人南山会がBCP強化のため「クロスゼロ」を導入 ～災害時の安否確認と情報共有を迅速化し、地域医療を守る体制を強化～

特定医療法人南山会（所在地：山梨県南アルプス市、理事長：川崎洋介、以下「当法人」）は、精神科病院をはじめ、介護老人保健施設や障害者支援施設などを運営し、地域に根ざした包括的な医療・福祉サービスを提供しています。

このたび当法人は、災害時の迅速な安否確認と情報共有体制の強化を目的として、株式会社建設システム（所在地：静岡県富士市、代表取締役社長：重森渉、以下「KENTEM」）が提供するBCP^{*1}支援サービス「クロスゼロ」を導入し、運用を開始いたしました。これにより、安否確認のデジタル化を実現し、災害発生時の初動対応力向上と情報共有の効率化を図ります。

※1・・・Business Continuity Planの略。自然災害の発生など、緊急事態において事業を早期復旧・継続するための計画のこと



■ クロスゼロ導入の背景

山梨県は南海トラフ地震や首都直下型地震^{*2}、富士山の噴火に伴う火山灰の降灰^{*3}、自然災害など、様々な災害リスクを抱えています。

当法人は医療や福祉という大変公益性の高い事業を運営しており、たとえ災害時であっても平常時と変わらないサービスを提供し続けなければなりません。また、災害により被災者のメンタルヘルスが悪化したとの報告やPTSDの発症リスクの増加などの影響も報告されており^{*4}、平常時以上に精神科医療の果たさなければならない役割は大きいと言えます。そのため、被災後、迅速に復旧し、地域医療を継続して提供できる体制を日頃から整えておくことが不可欠です。

しかし、これまで当法人では災害発生時の一斉連絡や安否確認を電話連絡網により行っており、連絡に時間がかかる、伝達ミスが生じるリスクがあるなど、様々な課題がありました。

これらの課題を解決し、災害時の初動対応を強化するため、当法人は「クロスゼロ」の導入を決定

しました。

※2・・・山梨県『山梨県地震被害想定調査結果（令和5年5月26日発表）』

※3・・・山梨県『富士山ハザードマップ（令和3年3月改定）』

※4・・・臨床精神医学講座 S6 巻『外傷後ストレス障害（PTSD）』中山書店

■ 導入の効果

導入以降、まだ大規模災害は起きていないため、十分な効果の検証はできていませんが、

- ・ アプリを利用して安否確認を一斉に行うことが可能になり、迅速かつ確実な確認ができるようになった
- ・ チャット機能により、病院周辺の被災状況などを迅速に情報共有することが可能になった
- ・ ファイル共有を行い、BCP マニュアルを職員がいつでも閲覧し、確認できるようになった
- ・ 防災訓練で使用することで、より実践的な訓練が行えるようになった

といった効果が確認されています。

■ 今後の展望

当法人では、引き続き BCP 体制の強化に取り組み、地域医療の継続性を高めてまいります。また、ファイル共有機能や掲示板機能などのさらなる活用を行い、災害時だけでなく、日常的にこのシステムを多くの職員が利用できる環境を整え、利用方法の理解促進に努めていきます。

■ クロスゼロについて

「クロスゼロ」は、災害時の安否確認・情報共有・ハザードマップ確認など、BCP 対策を総合的に支援するクラウドサービスです。平常時から利用できるチャット機能やファイル共有機能を備え、災害対応力の向上と業務効率化に寄与します。

■ 会社概要

【社名】 特定医療法人南山会

【設立】 1957年7月2日

【代表】 理事長 川崎 洋介

【住所】 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地 421

【事業内容】

精神科病院 峡西病院

障害者地域活動支援センター きがる館

訪問看護事業所 アルプス訪問看護ステーション

介護老人保健施設 峡西老人保健センター

就労継続支援 B 型事業所 アルプスファーム

【URL】 <https://www.nan-zan.or.jp/>

<お問い合わせ先>

特定医療法人南山会

TEL：055-282-2151（代表） 055-288-0750（直通） FAX：055-284-4886

担当：川口